

2022 年 3 月 28 日

各 位

**世界最先端の水素精製技術で水素流通に革命をおこし、水素社会の実現を目指す
株式会社ハイドロネクストへの「ほうわ創業・事業承継支援ファンド」による投資実行について**

株式会社豊和銀行（取締役頭取：榎藤 淳、以下「当行」）は、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社（代表取締役社長：松本 直人）と共同で設立した「ほうわ創業・事業承継支援投資事業有限責任組合（ほうわ創業・事業承継支援ファンド）」より株式会社ハイドロネクストへの投資を実行しましたので、お知らせいたします。

当行は今後も、創業及び事業承継を必要とする企業等の支援を通じて、地域経済の活性化に積極的に取り組んでまいります。

【投資先企業概要】

企 業 名	株式会社ハイドロネクスト
代 表 者	永井 正章
所 在 地	大分県大分市大字三佐 650 番地の 2
事 業 内 容	水素精製装置の研究開発、ガス混合装置の製造、水素精製のコンサルティング
U R L	https://www.hydronext.co.jp/

【株式会社株式会社ハイドロネクストについて】

◆投資先企業について

ハイドロネクストの水素分離技術は、水素原子が金属に溶解込む性質を利用し、バナジウム金属膜を透過させることで、超高純度の純水素ガスを取り出すことができます。

2015 年に締結されたパリ協定に加え、2020 年に日本政府が「2050 年カーボンニュートラル（温室効果ガス実質排出ゼロ）」を宣言したことで、脱炭素社会の実現を可能とするエネルギーとして、より一層、水素に注目が集まっています。水素エネルギー市場は 2030 年には世界市場 160 兆円とも言われています。水素社会の実現においては、いかに経済的に生産し、貯蔵・輸送するかが課題です。これまで主に想定されていた製造工程は、原材料となる褐炭を液化水素に変換し、大量に輸入する規模の経済によりコストダウンを図るモデルでしたが、これに対し同社の技術は、水素を含んだ物質をガス状態にし、そこから水素だけを取り出すことが可能となるため、水素製造の低コスト化に加えて、水素流通における昇圧・貯蔵・輸送というコストが大きく削減できることが期待されています。

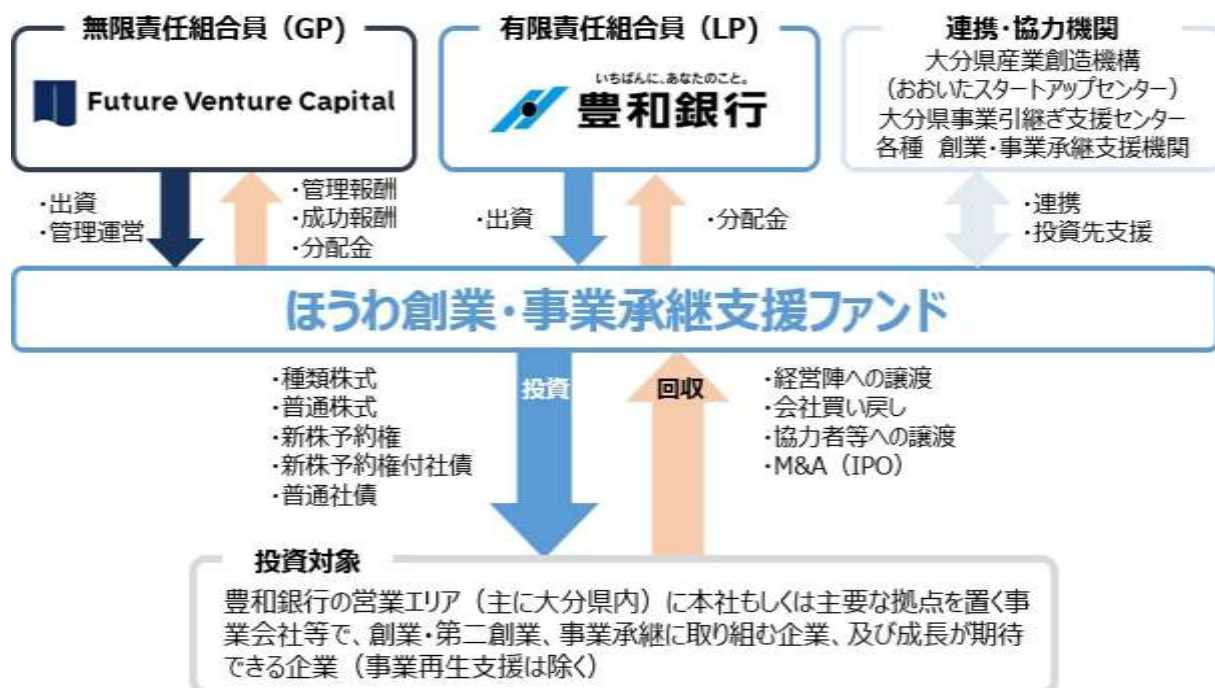
同社が所在する大分市には九州唯一の大分石油化学コンビナートがあり、同コンビナートから発生する

いちばんに、あなたのこと。

大量の純度の低い副生水素をどう利活用するかは地域の課題でもあります。同社は昭和電工、清水建設などの企業と環境省の実証実験に取り組む他、デバイス製造には同コンビナートを下支えする製造業とも連携し、「大分発世界へ」の水素産業を目指しています。

【ファンドの概要】

名 称	ほうわ創業・事業承継支援ファンド(ほうわ創業・事業承継支援投資事業有限責任組合)
設 立 日	2020年6月22日
ファンド総額	300百万円
組 合 員	有限責任組合員：株式会社豊和銀行 (出資目的) 地域の中小企業を支え、地域のサステナブルな経済発展につなげること 無限責任組合員：フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
ファンドの目的	創業：地域振興・販路支援・人材育成など。事業承継：地域内での円滑な事業継続など。
投資回収の方針	株式上場を前提とせず、地域活性化を目指す。
存 続 期 間	8年
連携協力機関	大分県産業創造機構、大分県事業引継ぎ支援センターなど、地域の創業・事業承継を支援する各団体と連携することで、投資先企業への資金供給のみならず、多方面からの支援を実施します。



お問い合わせ先：豊和銀行 ソリューション支援部 担当：神野、田中 電話：097-534-2653